

※DC最前線は、4月以降「観光ネット最前線」と名称を変え、観光まちづくりに関するホットな話題をお届けします。

DC期間中の主な取り組み

①地域ガイド育成事業

昨年3月「地域ガイド認定試験」を開催しました。結果33名が合格し、その内13名が、実践へ向けてのフォローアップ研修を経て、DC期間中実際にツアーバスに添乗するなど、大活躍しています。

②ふるさと観光講座の実施

第1期から3期までの基礎講座を開催し、これまでに48回の開催で、延べ683名の町民の方々が熱心に受講されました。現在は3月に開催される第2回地域ガイド認定試験に向け、地域ガイド養成短期集中講座を開催しております。

③各種ツアーの受入れ

旅行会社のご協力をいただき、ツアーバスの運行を実施しました。

＜実施ツアー名＞

- JTB主催「ホテル観洋1泊と明治村へタイムスリップの旅」
- 南三陸時間旅行サポートセンター主催「神割崎ウォーキングツアー」
- 南三陸時間旅行サポートセンター主催「田東山ウォーキングツアー」
- DC特別企画伊達なバス旅「南三陸とびっきりの時間旅行」
- JR主催駅長あすすめの小さなたび「サケの1460日時間旅行」
- JR主催「カキDC号あすばで買物ツアー」
- その他サポートセンターを通じて申込みのあった少人数から団体までの各種ツアー

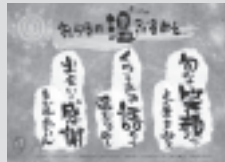


④南三陸時間旅行サポートセンターの継続設置

ブレDCの開幕（平成19年10月）に合わせ開設した「南三陸時間旅行サポートセンター」は、より業務内容を充実させ、南三陸町を訪れるお客様と地域との架け橋となるべく、DC期間中も各種ツアーの受入れや地域ガイドの手配、総合的な観光案内業務などを実施しました。サポートセンターは今後もさらに磨きをかけ、町の魅力を存分に発信できるよう継続していきます。

⑤汐風カフェの開設

ブレDC開催の際、多くのお客様や地域の方々からご要望の声が多かった「まちなか休憩所」を地域のご協力の



と、おさかな通り中心部に開設しました。開設後は、町を訪れるお客様から喜びの声をいただいたり、毎週土曜日には、地域の方が講師となり様々な魅力を伝えるミニイベントも実施し、多くの方々にご利用いただきました。

⑥みなみさんりく満喫ラリーの実施

地域の魅力を存分に味わってもらうため、農漁家レストランおよび産直売所を繋いだスタンプラリーを実施しました。参加店ではそれぞれDC特別メニューや、お買い得商品などを企画して地域ならではのおもてなしを实践しました。150件ほどの応募があり、厳正なる抽選の結果50名の方々に「南三陸のうまいもん」（旬の詰め合わせ）がプレゼントされました。

地域の自主的な取り組み

①飲食店組合による新メニュー開発試食会

南三陸町の旬の味覚を多くのお客様に届けたい！という飲食店組合の有志が、4度にわたる試食会を実施し検討を重ねた結果、ご当地弁当「南三陸食彩弁当」や「タコ弁当」などを開発し、DC期間中も多くのお客様に喜んで頂きました。



②おさかな通りの取り組み

サポートセンターを通じて申込みのあったツアーを対象に、おさかな通りをコースに組み入れ、1軒でも多くの店舗に立ち寄ってもらうためスタンプラリーを実施しました。3つのスタンプを集めたお客様にはおさかな通り各店舗が提供する「汐風のプチプレゼント」を贈呈し、たくさんのお客様に喜ばれました。

この他にも地域の皆さんの強い盛り上がりのもと、たくさんの方々の事業を実施し多くのお客様に喜んでいただきました。また、DCの開催をきっかけに、多くの地域の方々にも改めてこの町の魅力を感じていただいたものと思います。

DCはあくまでもきっかけであり、本当のスタートはこれからです。今後も「地域ネットワークと元気」をキーワードに、地域の皆さんと共に盛り上げていきたいと思っております！

～汐風カフェ・イベント情報～

- 3月7日(土) 午前10時から昼12時まで エコクラフトテープで小物づくり (講師：後藤とく子さん) 参加費500円
- 3月14日(土) 午前10時から昼12時まで ビーズストラップ作りに挑戦！ (講師：後藤とく子さん) 参加費500円
- 3月21日(土) 午前10時から昼12時まで 中国手芸 (講師：山内優莉さん、佐藤金枝さん) 参加費500円
- 3月28日(土) 午前10時から昼12時まで 食のウラ側を見つめよう (講師：地域貢献倶楽部あきべえさん) 参加費500円

※会場：汐風カフェ

※その他：参加を希望する場合は事前の申込みが必要です。南三陸時間旅行サポートセンターまでお申込みください。

「汐風を食べてみませんか。」は、DC南三陸町推進協議会のキャッチフレーズです。DCとは、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの通称で、JRと地域が一体となって展開する全国大型観光宣伝事業のことです。



山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきた

仙台・宮城DCの報告会が開催されました

昨年末で終了した「仙台・宮城DC」ですが、その成果と検証を踏まえ、各地域では今後の観光振興または地域づくりに活かそうと、検討が始まっています。

当町でも、2月17日(火)、「ポストDCスターティングイベント」と称して、これまでの取り組みの報告と併せて、第2部では「観光トークセッション～交流力で元気な地域づくりを～」が開催され、宮城県経済商工観光部参与熊谷信義氏、旬ダハプランニングワーク代表取締役吉川由美氏、おさなか通りおもてなし実践者山内ふみ子氏を講師に、活発な意見交換が行われました。「DCの成果を活かすかどうかは地域次第」とのなげかけに、参加者は、熱心にメモを取りながら聞き入りました。



「仙台・宮城DC南三陸町推進協議会の取り組み」

DC期間に実施した協議会の取り組みを一部紹介します。

地域へ向けたDC啓発活動

①タコDC号によるキャンペーン活動の実施



10月2日(木)、DCの開幕と共に町民120名による、仙台駅構内でのPRイベントを開催しました。

JR東日本の協力のもと、特別列車「ジョイフルトレイ

ンふるさとお座敷号」を貸し切り、車内では飲食店組合、菓子組合の協力を得て、「タコ弁当」や南三陸の食材を使った新メニューの試食会も行われました。

仙台駅到着後は南三陸商工会婦人部の皆さんによる「トコヤッサイ」の披露や、地元タコ博士による活タコを使ったパフォーマンスなどを繰り広げ、多くのお客様に南三陸の魅力を伝えることが出来ました。

②町主催イベントでのPR活動

町内外から多くの来場者で賑わう町のイベントでは、DC特設ブースを設けキャンペーングッズの販売や、のほりを設置してイベントを盛り上げました。仙台・宮城DCの人気キャラクター「おすび丸」くんも何度も登場してくれました！

③広報などを利用しての情報発信事業

- 広報みなみさんりくでの「DC最前線」ページの掲載（毎月）
- 観光情報掲示板「汐風だより」の発行、コルクボードの設置（現在94カ所）

